

～10年の経験から学ぶ維持管理と継続の処方箋～



小平市立小平第十三小学校

児童数：381名（平成30年5月1日現在）
芝生化面積：2,291m²
芝生が完成した時期：平成17年度

週3回の芝刈りで手の掛からない強い芝生が生まれました

小平市立小平第十三小学校
早川 和男 校長



この10年を振り返って

着工したのが平成17年の夏ですが、当時は芝生化している学校が少なく、周囲の理解を得るのも大変だったそうです。おかげさまで、ここ数年は補植などを行う必要がないくらい芝生はしっかりと根付いています。子供たちにとっては裸足で走り回ったりごろごろ寝転んだりすることが普通になっており、擦り傷などのけがもほとんどなくなりました。



維持管理のコツは？

サポーターの方たちが週3回行っている芝刈りです。芝生は刈ることで成長ホルモンが促され密度が高まって強くなります。さらに、密度が高まると草の種が飛んできて地面に落ちないので発芽しない、だから雑草が生えにくくなります。これが、十三小特有の強い芝生の秘密であり、一番の特長です。

今後の課題について

裸足で行う運動会や体育の授業、休み時間とフルに芝生を利用していますが、芝生の状態が安定したことで、子供たちが維持管理に携わる機会が少なくなってしまったという、ぜいたくな悩みがあります。本校では以前、子供たちが育てたポット苗を芝生化とは関係のない中庭に植えたところ、その中庭がきれいな芝生に生まれ変わったことがあります。そのような独自の取組ができれば良いですし、サポーターの方の活動を将来に渡って引き継いでいけるような組織の充実が大切だと考えています。

